

刊夕日一十三月一



平授産場の建設

愈よ工事に着手

工費三千圓で来る三月落成
隣保館は十四年度中に

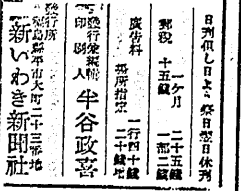
平市に於ける授産場の新設は、十七坪の授産場新築に着手し、今次事變の勃發で、就後の憂念から、しむべく、社会事業助成會の奔走で、假工場による授産事業を施行されてゐるが、豫ねて敷地に隣んでゐる市内南東市立商業學校の東部に、小學校基、本財産地と富山崎三郎氏所有地の寄附によつて、一千五百坪の敷地を得たので、平家建四

郡下技術員を會し

米穀増産の協議會

既往三年收穫平均の百分の五
年産十八萬四千百十石

石城郡農會主催の郡下各町村農會技術員會は来る四日午前、十時から平市郡團休事務所樓上に開かれる同會は、縣の指示による米穀増産計画につき協議されるもので、既往三年に於ける同郡の年産高平均十七萬五千三百四十三石に對する百分の五を増す十八萬四千百十石を收穫しやうとする其れには品種の選擇、肥料の給施等従來經濟更生委員が斯の種の指導に當つてゐたものへ技術的方面の力を添へ、經更の指導の外に生産計畫、肥料配給統制、資材配給統制、努力自給調整部の五部門に分け郡と縣とに各委員を置いて所記の



常識講座

スピリチュアル・ライフは精神生活の意、生活の意義が主として精神上のことにあるを云ふ、オイコト、などの盛んに主張する物質生活に對する反動、又精神の活動と云ふ意だ、

農業指導方策の確立研究協議

十二日は平第三小學校講堂に同團の結成式を舉ぐる筈で、向、部長には赤井常福、寺住職、旭純榮師を推すもの、如く其の他幹部を決した上で、戦死者の追悼會を執行する

戦友六十一名が香典と慰問状

石城郡夏井村の山崎故歩兵上等兵牧野宏三君は、秋州部隊に屬して活躍中の昨年十月三十日遂に戦死し、香典二十九

六十才の老翁 銃後に活躍表彰

石城郡上野野村の下根岸鈴木子之吉翁は六十才老翁をもつて銃後運動に専心し、昨年十一月二日同村國防婦人會の五つの分區に班旗を寄附したる外、村內龍巖寺に石標を建て、戦友勇士の英霊を慰め、また小學校には校旗を贈り、二百五十圓を投じて二宮尊徳翁の立像を校門脇に目下建立中であるが、來二月十一日の紀元節にこの除幕式を舉行の筈で、村では當日鈴木翁に感謝状を贈呈する

平小鐵道の批判

代議士 星

多敷はそれに參加してゐる平市民の大部分もそれを希望してゐる、市會議員は市民の意思を代表すべきであるが、白紙還元とは市民の意思を代表しての議決であらうか、それとも誰かの意思を代表しての議決であるのか、その議決に共鳴したる市會議員は誰から白紙還元など云ふ智慧を貰つて來たのであらうか、表面に現はれた

再震で傷んだ配水管僅か八ヶ所

平市上水管は数日前の第二回の強震でまた、配水管の損傷を受けたが前回の大地震で破損せる修理の箇所は總目位一ヶ所

今日の最難行軍 渦大房灣の擔送

石城郡植田町出身 嵐 正三

拜啓、其の後意外の御無沙汰に申候、皆々様御變りなく御察しなされ候御伺申上候、陳者小生其後は漢口攻略の爲め〇月〇日南京を出發第〇〇〇付となり患難を共にして、先づ廣州に於て〇〇〇の出發を待ち申候、第〇〇〇行動開始するや小生等は其の直後を前進し六安、葉家集、固始、光州、南城、信陽を陥落後直ちに入城、名譽の戦傷者として支那特許の二期にて道路の泥濘、自動車は進行も

泥酔し列車から振落されて重傷

石城郡錦村の中田居住昭和人絹工場職工遠藤政次(三三)は去る二十九日午後一時十七分、

十三の小學女生 繩なひで献金

石城郡高久小學校五年生箱崎はつと(三三)さんは昨年中から家計の一助に學校から歸ると毎日父窓次さんの手傳をなし繩なひをやつて其の内から得たる小額づゝを貯めた金一圓を校長の手を経て國防献金として其の中間に石ころ混り急坂が続き居り候、其の急坂を擔送患者をかつきよ、後送出來たものと今更ながら彼の當時のことを考へ自分ながら驚き居り候、唯今は〇〇に移動仕り輸送動

務に従事致し居り候、漢口

にも一度連絡に行き市中を見學仕り候、手紙も此の連絡の折四月月振りにて拜見任り候、昭和十四年元旦は現在地に於て迎ひ申候、遙か下、萬歳を三唱仕り候、當日は出征當時の事など考へられ夢の如き感じ致し申候、最後に皆様の御健康を御祈り申上候、草々

新文具御案内

マルトモ書店入荷
盤算洲雲
黒檀玉
黄楊玉
骨玉
2.50以上各種

四球算盤各三十種

小學生用
國ケンゴ帳簿
中判 十六穴
相判 十二穴
從來の四穴帳簿の様に用紙がすぐ取れる事がなく、堅牢で御使用を御薦め致します

運動は海岸廻りだけである、三、平に始めて市制が布かれ、始めて市民から選舉された市會議員であるから、能く世の中にある市會の腐敗と云ふ様な事を眞似せず、立派な市會とせねばならぬ、日本にも市會の腐敗があるが、一番最初の即ち第一回の市會から腐敗をしたと云ふことは無い、市會が重なるに従つて、その中に黨派が出来たり、悪い人が勢力を張つて腐敗して世に悪い例を残すのである、平市會は最初からそんな悪い例を残すのである、

どう云ふ理由であらうか、誰に頼まれてどういふことをするであらうか、市會議員は市民の頼みには忠實として忠實に働かねばならぬか、市民の意思に反する頼みは拒絶してもよいのでは無い、五、青沼平市長は片濱廻りは平の繁榮に影射するのであるからとして熱心にその片濱廻りに奔走された人で、然るに白紙還元運動に引摺られて居ると云ふことは、平出身の市長としては考へべきことではなからうか、六、白紙の還元決議をした市會の行爲につき市制の上から深く検討する必要があるからうか、多敷を頼んでそんな決議をなし、それを振り廻されては市の將來が心配されるではないか、

市會議員等のロボットとなることを遺憾にしてゐる市會議員には平出身でなく他所者があり、それが勢力を張つて居るのである、市長の椅子を愛するよりも平市民をより多く愛する、云ふのが平出身の市長の口から出るべき言葉ではなからうか、

御用 高島屋 本店

新文具御案内
マルトモ書店入荷
盤算洲雲
黒檀玉
黄楊玉
骨玉
2.50以上各種

田乘驟發上り列車に泥酔してり込み列車の乗降口で風に吹かれて、一息持てたが同町石塚地内に差かゝつたところ、誤つて振り落され頭部及び背部に全治二十日間の重傷を負つた

産業方面

計画生産に
中心を置いて

(6) 農山漁村に絶花
の十四年度整理算
特に政府が認可するもの
外は、原則として種牡馬を
國有とし、現存する民有種
牡馬は昭和二十年年度まで
漸次これを整理すること
し、二十一年度以降は國有
種牡馬七千五百頭のうち二
千頭は種馬場、種馬所に繋
養し、その他は民間へ貸付
ける方針でこれに對しては
飼養助成金を交付する、次
ぎに種牡馬整備のため政府
は所有者の申出によつて毎
年定期または臨時に民有の
牡馬を検定し、合格したもの
は種牡馬または候補種牡
馬(四才以下のもの)に指定
し、後者は必要に応じて政
府で買上げる、此について
は政府は毎年民有の牡馬を
検査し、合格したものを優
良種牡馬、候補優良牡馬(四
才以下のもの)として指定
し飼養者には奨励金(一頭
當り二十七圓見當)を交付
する、尙ほ種馬配合にも注
意するにたつてゐるが
種付行為は優良種牡馬でな
くとも従来と同様行ふこと
が出来る
軍馬資源保護、これは國を
護るために必要とされる馬の
資源の向上をはかつて軍馬資
源の充實を期することが目的
で、九百八十一萬三千頭を計
上してゐる、政府は毎年馬の
検査をやりこれに合格した馬
を軍用保護馬として指定の上
軍用保護馬籍に記載し其の馬
主には飼養補助金(一頭當り
大休四十圓)を出す

◆一紙印刷物も
無引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

根本産科醫院

平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

お醤油は ヤマフル

醤油味増
たひら正宗
産節食料品
山崎合名會社
電話 本業部 二七〇番
分店 二七〇番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

生公華

山崎合名會社
電話 本業部 二七〇番
分店 二七〇番



大河内 整形科醫院

平市搔搔小路
電話五八八番

釜屋商店

和洋鋼鐵、金物問屋
九九・九電

サロシ

電話五九二番
に變りました
安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一
電話一六番
平務取扱者 阿部助次郎

新時代の要求

耐暑事業に等外看護婦を特許いたし
皆様の御用向へ身元確かなる婦人を
派出致します
平市南町 平看護婦會
電話三〇七
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

カバン洋品類



眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新)
電話五六五

産科 醫學博士 五十嵐雄二

病室増築、手術室完備
婦人科
平市新川町 電話二六九番

國民精神總動員

日本國民必見の券……
内閣情報部發行
寫真週報
一部一〇セ
お取次致して居ります
西村屋藥局